

ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2019 受賞者紹介



写真左から、江頭当協議会会長、菅今治市長、山本国土強靱化担当大臣、共同受賞者の皆様

グランプリは今治市他「安全安心で人と地域をつなぐ今治市クリーンセンター」に

レジリエンスジャパン推進協議会は、2019年3月15日、鉄鋼会館（東京都中央区）で第5回レジリエンスアワードの表彰式を開催した。

多数の応募の中から69件が入選し、今治市・株式会社タクマ・NPO今治センター・今治ハイトラスト株式会社の共同応募による「安全安心で人と地域をつなぐ今治市クリーンセンター」がグランプリに輝き、山本順三国土強靱化担当と江頭敏明弊協議会会長から表彰状と記念品が授与された。

菅良二今治市長「12市町村合併を契機に老朽化したゴミ処理施設のリニューアルに取り組んだ。市だけでなくタクマ社、ハイトラスト社、NPO法人今治センターはじめ企業や民間有識団体との協力関係のもとに、ハードとソフトの両面の整備に注力した。ハード面では平時の安全操業や環境編の配慮だけでなく、災害時には地域住民の避難所として活用できるように、電力、上下水道などの設備を有する施設とした。ソフト面でも平時から災害時を想定した各種の訓練など平時と有事の境目をなくす取り組みを継続している。『ゴミ処理施設は迷惑施設ではない。地域活性化施設だ』という事実を示す先例として全

国に情報発信していく」

山本順三国土強靱化担当大臣「今治市・株式会社タクマ・NPO今治センター・株式会社今治ハイトラストの皆様、グランプリ受賞おめでとうございます。去年は地震、台風が相次ぎ多大な被害が発生した。心の準備とともにハードの備えが必要だ。昨年秋にはインフラ総点検を行い、平成30年度補正予算から3か年で7兆円、過去に例がない規模の予算をもって優先順位の高いところから緊急対策を講じていく。今回のアワードでは様々な分野で様々な方法で取り組みが図られていくことがわかり心強く思った。他方で、自分の命は自分で守る、危険が迫る前に逃げるが防災の基本だ。ハードとソフトの両面で、日本列島とそこに住む国民を災害から守る、そのための取り組みを支援していきたい」

ジオ・サーチ、神戸市・三井住友海上火災保険、静岡大学が準グランプリの金賞に輝く

準グランプリには、企業・産業部門ではジオ・サーチ株式会社が「日本発の減災技術『スケルカ』で世界の道路ネットワークの安心・安全を守る」で、地方自治体部門では神戸市と三井住友海上火災保険株式会社が「強くてしなやかな地域づくり・人づくりを実現

する、全国初となる認知症『神戸モデル』の創設」で、教育機関部門では静岡大学教育学部小林朋子研究室が「国土強靱化の基礎となる人づくりを進める子供向け教材の開発・実践」で、それぞれの部門の最高賞である金賞を受賞。ジオ・サーチ株式会社の冨田洋社長には村上周三審査委員（一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長）から、神戸市には柏木孝夫審査委員（東京工業大学特命教授）から、静岡大学教育学部の小林朋子教授には赤池学審査委員（ユニバーサルデザイン総合研究所所長）からそれぞれ賞状と記念品が授与された。



村上審査委員から冨田ジオ・サーチ社長への賞状授与

冨田洋ジオ・サーチ社長「第1回に古屋圭司特別顧問賞を受賞して以来2回目の賞をいただくことができた。この間に路面下空洞探索と3D画像化技術のさらなる進化と普及に努めた。その一方で韓国ソウル市や台湾など海外での試行も行ってきた。特に台湾では道路を管理する自治体だけでなく地域住民からも暖かいエールが贈られる感動もあった。命と暮らしを守る減災ドクターの仕事に国境はない。我が国の災害時に支援をいただいた諸外国に、我が国の知見と技術をもって恩返しするという安倍総理の言葉を実践すべく本格的な海外展開を進めていきたい」



柏木審査委員から三木神戸市保健福祉局長への賞状授与

三木孝神戸市保健福祉局長「神戸市ではヘルスケア大臣会合で議題となった認知症対策として、早期診断早期治療を実現するための仕組みと、認知症患者や家族が安心して暮らせるようにするための保険制度を全国の自治体に先駆けて導入した。前者は医師会の全面的な協力により65歳以上の人を対象にした2段階のプロセスで軽度認知障害と認知症の診断を行う仕組み。後者は認知症患者が加害事故や失火を起こした場合に、神戸市が賠償責任保険によって被害者への保険金や見舞金の支払いを肩代わりできるようにする保険制度で、三井住友海上火災社からの提案により実現に至った。認知症患者数の把握、加害事故率の算定などが可能になる。軽度認知障害の段階で治療開始できるので認知症患者数の抑制にもつながる。認知症患者や家族が安心して暮らせる町づくりを通じて国土強靱化に寄与していきたい」



赤池審査委員と小林教授（中央）

小林朋子静岡大学教育学部教授「心理学では困難から立ち直る力をレジリエンスと呼ぶ。子供たちを対象に人のレジリエンスを育てる教材として『レジリン』という電子版紙芝居を開発し制作普及を行ってきた。心理学の科学的知見に基づく生活の仕方、ものの考え方、行動の仕方について学ぶツールで、学校教育の場での活用を図っている。困難な時に人と人とのつながり、相談、サポートが突破する力を生む。レジリエンスはこれからの子供の教育にとって必須であり、子供を通じて保護者にも伝わるものと期待している。制作物の紙媒体化を図りたく企業の皆様にも理解と協力を仰ぎたい」

準グランプリ 二階俊博国土強靱化提唱者賞は和歌山県と広川町が受賞

二階俊博国土強靱化提唱者賞は、和歌山県と同県広川町が『「稲むらの火」を語り継ぎ、迫りくる巨大震災に備える津波防災地域づくり』で受賞。二階俊博当協議会特別顧問（自由民主党幹事長）より下宏和歌山県副知事と西岡利記広川町長に賞状と記念品が授与された。



二階特別顧問から下和歌山県副知事への賞状授与

下宏和歌山県副知事「県と広川町で取り組んできた。安政南海地震と津波で現在の和歌山県は甚大な被害を経験した。広村（現広川町）の有力者であった濱口梧陵は自らの田の稲むらに火をつけ村人に津波襲来を知らせて避難を促した。災害後には私財を投じて堤防を建設、村人を雇用して生活の糧を与えた。同堤防は昭和南海地震で津波の減災に役立った。濱口の偉業とともに津波即避難という行動を伝承してきた。濱口梧陵記念館では、3D シアターを通じて全国から訪れる来訪者にも伝えている」

二階俊博当協議会特別顧問「災害経験を語り継ぐことが何より大切だ。災害の怖さを知ることが命を守り知らないと命を落とす。津波が来ることがわかったらすぐに逃げるしかない。野球のタッチアップと同じ。考える暇も議論している暇もない。半鐘がなってから逃げても間に合わない。津波防災、稲むらの火の実話を一地域だけでなく全国に伝承しなくてはいけない。子供から大人までに知らせることはレベルが高い仕事だ。様々な場を通じて、仲間を通じて、組織を通じて日本国全体に伝えていくことが肝要だ」

準グランプリ 古屋圭司初代国土強靱化担当大臣賞は木の城たいせつが受賞

古屋圭司初代国土強靱化担当大臣賞は、株式会社木

の城たいせつが「地震被害神社の建て替え、寄贈による地域復興プロジェクト」で受賞。古屋圭司当協議会特別顧問（衆議院議員）より吉村孝文社長に賞状と記念品が授与された。



古屋当協議会特別顧問から吉村木の城たいせつ社長への賞状授与

吉村孝文社長「熊本地震で被災した西原村白山姫神社社殿の寄贈を評価いただけたことは光栄だ。人が住む家を作る人が神様が住む家をつくるということで身が引き締まる思いだ。社殿の再建工事を担うのは札幌石山神社に次いで二例目。弊社では、宮大工の技術を伝承しつつ独自の工場加工技術を融合して、地震に強い社殿の建設を可能にした。今年東日本大震災で被災した福島県浪江町の諏訪神社の社殿寄贈に取り組む。神社だけでなく、本業においても地震に強い住宅の供給を通じて国土強靱化に貢献していきたい」

古屋圭司当協議会特別顧問「日本には全国各地に神社があって地域の安全と五穀豊穡を祈っている。神道は2千数百年の歴史をもち、この国の文化を刻んできた。昨今では各地の神社で氏子が減り社殿の修理にも窮している。この事業は近代的な工法を融合して低コストで社殿の復興を実現することができるもので素晴らしい。日本の建築は木の文化だ。私は国土強靱化の一環に木をとり入れるべく CLT（直交積層木質構造材）の導入促進を手掛けてきた。このテーマは木の文化の普及という側面でも意義深い」

準グランプリ 佐々木則夫賞は宮城県多賀城高等学校が受賞

佐々木則夫賞は、宮城県多賀城高等学校が「都市型津波を伝承する『まち歩き』」で受賞。佐々木則夫元監

督に代わって、江頭敏明弊協議会会長より小畑友哉多賀城高等学校生徒会会長に賞状と記念品が授与された。



江頭当協議会会長と小畑多賀城高等学校生徒会会長

国土強靱化地域計画賞・金賞は鳥取県と春日部市が受賞

国土強靱化地域計画賞・金賞は、都道府県の部は鳥取県が市区町村の部は春日部市（埼玉県）がそれぞれ受賞。鳥取県と春日部市には山本順三国土強靱化担当大臣と江頭敏明弊協議会会長から賞状と記念品が授与された。



山本国土強靱化担当大臣より草野鳥取県県土整備部次長へのトロフィー授与

草野慎一鳥取県県土整備部次長（4月1日より部長）「平成28年3月に策定した。その後の地震、豪雪、豪雨、台風などの災害を教訓に中間見直しを図っている。要配慮者の避難計画と訓練、防災リーダーの育成、福祉避難所の指定など。見直し後には中間評価も実施した。鳥取市はじめ懸架の町村との連携も積極的に行った。これらを評価いただけて光栄だ。昨今では外国

人のインバウンドが増加しており、外国人向けの対策も視野に入れていきたい」



山本国土強靱化担当大臣より石川春日部市長へのトロフィー授与

石川良三春日部市長「春日部市は下総台地と大宮台地にはさまれた低平地で、これまで度々水害に遭ってきた。平成18年に国土交通省により外郭放水路が整備されたことにより水害がなくなった。その後も東埼玉高規格道路、駅周辺の整備などが次々に計画、実行されつつあり災害に強いインフラが形成されつつある。春日部市では国土強靱化地域計画を総合振興計画の中に位置づけることにより。国によるインフラ整備だけに頼ることなく地域の強靱化をさらに前進させていきたい」

最優秀レジリエンス賞を受賞した団体・企業

- ・全国防草ブロック工業会・防草研究会 「植物の成長メカニズムを利用した環境型道路インフラデザイン」
- ・株式会社 安信「小型耐震シェルター『構-kamae-』の開発」
- ・一般社団法人電気通信事業者協会 緊急速報メールワーキンググループ 「災害情報をより多くの方へ～Andorid 向け緊急速報メール共通受信仕様」
- ・前田工織株式会社 「耐候性大型土のう『ツートンバッグ』の開発」
- ・ジャパンホームシールド株式会社 「切土・盛土分布図を活用した地盤調査・解析精度の向上」
- ・AIG 損害保険株式会社 「"AIG Flood Lens"による保険金請求奨励、被災したお客様の訪問計画」
- ・ゼニス羽田株式会社 「崩壊土砂、落石等の停止・

捕捉を目的としたループフェンスの開発」

- ・株式会社光レジン工業 「津波対策用密閉型小型シェルター「防災・救命シェルターCL-HIKARi」
- ・東京海上日動火災保険株式会社／ベルフォアジャパン株式会社「災害早期復旧サービスの普及を通じた企業等のレジリエンス強化支援」
- ・旭化成ホームズ株式会社 「ヘーベルハウス・ヘーベルメゾンのトータルレジリエンス」
- ・ナイス株式会社 「47 都道府県からの森林認証材調達ネットワークの確立」
- ・一般社団法人ステキ信頼リフォーム推進協会/ 一般財団法人強靱な理想の住宅を創る会/ 特定非営利法人住まいの構造改革推進協会 「耐震模型等の啓発ツール活用により官民連携の住宅耐震化普及啓発活動」
- ・ナイス株式会社「釜山新港プレカット工場設置と、木造応急仮設住宅の供給体制の確立」
- ・プライム・スター株式会社「普及版ポータブル非常用蓄電池」
- ・ナイス株式会社 「大径材の活用（ギュット・オビレッド・木製フェンス）による国産材需要の拡大」
- ・なでしこ BC 連携「女性目線を活用した中小建設業者の強靱化～なでしこ BC 連携～」
- ・ニューメディア・テック株式会社「災害時確保水用、全水域対応浄水機の開発」
- ・東京海上日動火災保険株式会社「若者の東京一極集中からの転換」
- ・株式会社美交工業「防災公園における緊急サービス（広域避難場所、後方支援活動拠点）の立ち上げと維持」
- ・株式会社 LIXIL「災害配慮トイレ『LIXIL のレジリエンストイレ』」
- ・株式会社 LIXIL 住宅研究所「人生 100 歳時代の未来住宅「五世代」」
- ・株式会社オリエンタルコンサルタンツ／株式会社ハレックス「土砂災害警戒支援システムの開発」
- ・静岡県小山町「行政と住民が一体となった森林資源利用の推進に配慮した山地強靱化の取り組み」

優秀賞を受賞した団体・企業・学校

- ・旭化成ホームズ株式会社「ヘーベルガーデン新富士「あしたの社」～江川地区豊かな暮らし空間住宅整備事業～」

- ・国土防災技術株式会社「危険な斜面作業の安全性を確保する仮設 ECO バインド工法」
- ・ミライノベーションプロジェクト推進企業グループ「誰にとっても安全・安心で快適な未来の街を創るプロジェクト」
- ・国土建設株式会社、滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科金子研究室・高田研究室「災害時に応急避難施設への変身が可能な施設の開発」
- ・AIG 損害保険株式会社 「レジリエンスのための BCP Active Care Promotion」
- ・東京海上日動火災保険株式会社「「農」・「食」の（国際）競争力向上に向けた各種支援」
- ・東京海上日動火災保険株式会社「顧客周遊を促し力強い街づくりに貢献。ビーコンの位置情報を活用した「地方創生プラットフォームアプリ」の開発」
- ・「震災の経験を次世代に」実行委員会（産業新聞社、積水ハウス、大阪ガス）「防災キッズ育成サポートプロジェクトの展開」
- ・セコム株式会社「地震・津波・土砂崩れ・洪水などの災害から生命・身体を守る「あんしん防災シェルター」
- ・幸和ハウジング株式会社「耐震+制振の家の開発」
- ・株式会社エフエム徳島 「親子ラジオ工作教室の実施」
- ・大和ハウス工業株式会社 「大和ハウス・佐賀ビルにおける環境配慮とエネルギー自立を目指した取り組み」
- ・ナイス株式会社 「脱炭素化に向けた住まいの普及活動と木材利用の推進活動」
- ・ナイス株式会社 「JAS 構造材普及により国産材利用拡大の取り組み」
- ・株式会社カンスト「災害時に自立的にネットワークを構築するバッテリーコネクト」
- ・掛川市立栄川中学校「地域と連携した防災教育「避難所生活体験学習」の取組」
- ・浜松職業能力開発短期大学校「大規模震災時の避難者ニーズの把握に有用な避難所支援システムの開発」
- ・あいち・なごや強靱化共創センター（愛知県・名古屋市・名古屋大学）「産官学の結集による地域強靱化推進拠点『あいち・なごや強靱化共創センター』の設立とその実践」
- ・苫小牧港管理組合「苫小牧港港湾 BCP 策定と検証～北海道胆振東部地震における港湾 BCP の活用と港

湾機能の早期復旧～」

優良賞を受賞した団体・企業

- ・株式会社山善「家庭のレジリエンスを高める“ZEHプラスα”のコンセプト住宅『ZePlus（ゼプラス）』」
- ・有限会社アイティーオー「濡れた床の転倒防止防滑施工の低コスト化」
- ・ナイス株式会社「地域を元気にする～市営住宅整備事業における『森でつながる街』構想～」
- ・MS & AD インシュアランスグループ「水災・地震への備え提案運動の実施」
- ・地盤ネットホールディングス株式会社「地盤を知り、備えることで3つの災害をゼロに！3ZERO計画」
- ・スマートパワー株式会社「神奈川県電気の自給自足を目指し災害にも強い「電気を買わない家」の提案」
- ・福田誠治「名古屋市における河川下・軌道下の上下水道管の耐震化」
- ・福田誠治「名古屋市における総合的な断水対策」
- ・福田誠治「名古屋市中川運河の防災上の活用策」
- ・特定非営利活動法人 大阪環境カウンセラー協会「持続可能な経済社会に向けた環境保全活動」

国土強靱化地域計画賞・優秀賞を受賞した地方自治体

福岡県北九州市
北海道釧路市
奈良県橿原市
鳥取県鳥取市
鳥取県西部町村（日吉津村、大山町、南部町、伯耆町日南町、日野町、江府町）
京都府京都市
静岡県島田市

最終審査委員会（敬称略・50音順）

【委員長】

藤井聡 京都大学大学院工学研究科 教授

【委員】

赤池学 ユニバーサルデザイン総合研究所 所長、CSV 開発機構 理事長
大石久和 国土政策研究所 所長
柏木孝夫 東京工業大学 特命教授・名誉教授 先進エネルギー国際研究センター長
塩田清二 星薬科大学 特任教授
中林一樹 東京都立大学 名誉教授、明治大学 研究・知財戦略機構 研究推進員
林春男 防災科学技術研究所 理事長、一般社団法人 レジリエンス協会 会長
村上周三 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長

【特別審査委員】

佐々木則夫 元プロサッカー監督
二階俊博 衆議院議員、国土強靱化提唱者
古屋圭司 衆議院議員、初代国土強靱化担当大臣

「国土強靱化地域計画賞」審査委員（敬称略・50音順）

内閣官房 国土強靱化推進室
藤井聡 京都大学大学院工学研究科 教授
中林一樹 東京都立大学 名誉教授、明治大学 研究・知財戦略機構 研究推進員